十日朝一般職工は予定の如く時限に入場せんとしたるも会社側は三日間の休業を工場の主要地六箇所に掲示したるを以って入場し能はず機械料職工二百名は亦罷業に出らかし久堅町長慶寺境内に於て会数名は要求に努力せんことを協議をなしたるが春日庄次郎の発議に依り解散 更に同日氷川下町同組合本部前に集合せるが富坂署警戒員の注意に依り午前十時一般職工は解散 交渉員外百名許り残り協議す

△應援組合の状況

本争議に應援中なるは関東労働同盟会 望月源治 仝齋藤健一 関東印刷労働組合春日庄次郎等なるが又總同盟側印刷聯合會は本争議に依り組合擴張を計り博文館職工の罷業勝敗は在京印刷工組合員の興廃に関するを以て要求全部を容れられる迄争議を継續せしむ極力應援することとし博文館印刷所附近に七百枚許りの宣傳ビラを撒布し盛に活動す

△会社側の態度

会社側に於ては重役元支配人堀江武 水谷藤長又工務課長等主として交渉の任に當り居るも会社側が斷じて應じ出したるも高職工が全部の要求入れらるゝ迄で争議継續するの強硬なる態度に困窮

財團法人 協調會